

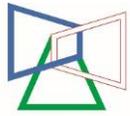
Japan Exhibition Association
一般社団法人 日本展示会協会

自由民主党展示会産業 議員連盟 意見交換会 資料

新型コロナウイルス感染症、五輪延期 による展示会産業への影響と支援策の 要望について

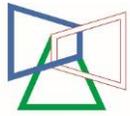
2020年6月26日（金）

一般社団法人 日本展示会協会
会長 浜田 憲尚



新型コロナ対応・五輪延期に関する要望経緯

- 3/10 「新型コロナウイルス感染症の展示会産業への影響と支援策を要望について」を甘利会長へ提出
- 3/24 新型コロナウイルス感染症の実体経済への影響に関する集中ヒアリング参加（当日夜、五輪延期が決定）
- 3/31 要望書第1号を作成し日本展示会協会ホームページに掲載し関係各所へ提出
＜要望内容＞
 1. 首都圏に仮設展示場を建設する
 2. 幕張メッセ、東京ビッグサイト西・南展示棟は展示場として使用可能にする
 3. 青海展示棟の使用期間をオリンピック後まで延長する
 4. 首都圏の他の展示会場も含めた調整
 5. 五輪後の撤去期間の短縮について再検討
 6. 既に募集を開始している展示会への支援
- 4/14 遠藤顧問（東京オリンピック・パラリンピック競技大会 組織委員会 会長代行）に要望書第1号をご説明



五輪延期に関する要望書第1号の回答状況

1. 首都圏に仮設展示場を建設する

東京都産業労働局商工部長より日展協会長に電話で連絡があり「仮設展示場の新設は、現状は土地及び建設期間の問題で難しい」旨の回答があった（※4/17回答。以下回答は同日）

2. 幕張メッセ、東京ビッグサイト西・南展示棟は展示場として使用可能にする

東京都産業労働局商工部長より日展協会長に電話で連絡があり「西・南展示棟は2020年度の利用制限をそのまま2021年度へ移行する」旨の回答があった（幕張メッセも東京ビッグサイトと同様の回答）

※現状、幕張メッセ、東京ビッグサイトから各主催者に2021年4月以降の具体的な日程調整の連絡がきておらず、展示会の予定をたてられない状態

3. 青海展示棟の使用期間をオリンピック後まで延長する

5/22青海展示棟の延長が確定し、5/27よりビッグサイトから日程調整の案内が開始され調整中。しかし、青海展示棟が延長されたとしても、本来116,540㎡利用できていた面積が、72,480㎡（当初予定の62.19%）しか利用できないため、五輪延期前の展示会面積が縮小となっている主催者も多い

※西・南展示棟と同様、青海展示棟も2021年4月以降の日程提示はない

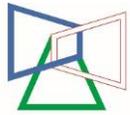
4. 首都圏の他の展示会場も含めた調整

5. 五輪後の撤去期間の短縮について再検討

6. 既に募集を開始している展示会への支援



4.は幕張メッセと東京ビッグサイトとは日程情報を共有しているとのことであるが、5. 6.について東京都からの回答はなし



五輪延期にともなう日程調整状況

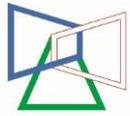
■青海展示棟の延長が決まり2021年3月までの日程が提示される

展示会場利用面積は五輪延期前の**62.19%**となってしまう**面積縮小を余儀なくされている主催者もいる状況**

営業面積の縮小により展示会運営が赤字想定になる、パンフレット・ポスター・チラシなどの再印刷の代替提示がない等、五輪延期による変更が主催者のコスト負担となっている問題が発生している

出展社にとっては面積縮小により展示会に出展できない状況が発生するため、特に中小企業にとっては展示会で予定していた販路拡大が見込めない事態になる

展示箇所	2019年度												2020年度						2021年度																															
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	現在 6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11																		
東展示棟 (東1~6ホール) 51,380㎡	閉鎖 (国際放送センターとして使用)												オリンピック延期のため利用不可																																					
東新展示棟 (東7, 8ホール) 15,880㎡																																																		
西展示棟 29,280㎡																																																		
南展示棟 20,000㎡																																																		
青海展示棟(延長) 23,200㎡																																																		
展示面積 (㎡)	52,480												72,480						72,480				利用制限日程が提示されず未確定																											
																			12月-3月まで62.19% (4.4万㎡のマイナス)																															



五輪延期に関する要望書第2号について

■5/11 要望書第2号を作成

＜要望内容；約7万㎡の仮設展示場建設のため予算作成を要望＞

首都圏に、東京ビッグサイトで利用制限がかかる東・東新展示棟の面積約7万㎡に相当する仮設展示場建設のための予算を要望

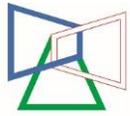
■5/13 要望書第2号に関する経済産業省からの見解が示される

＜内容；用地、期間の問題から仮設建設については課題がある＞

別途予算要求案として下記が示される

(支援策案)

- 展示会関係者間の各種調整
- 国際的な展示会業界団体と連携した国内展示会のPR・感染対策等
- 影響を受ける主催者等への開催支援や新型コロナウイルスと共生する形での展示会ビジネスの支援等



五輪延期に伴う支援策の要望

■営業機会損失補填のための会場費減免と発注済みコスト補填

ビッグサイトの営業面積が五輪延期によって62.19%になってしまい、主催者は営業の機会損失が発生。機会損失の補填のためビッグサイト会場費の減免、会場・日程変更に伴う発注済みコストの補填を要望
※展示会主催にかかる運営固定費はほとんど変わらないにも関わらず、ビッグサイトの営業面積が五輪延期によって62.19%になってしまい、出展企業から得られる収入が大幅減、赤字転落になる主催者も発生することが予想され、その損失補填のためにビッグサイト会場費の減免を要望

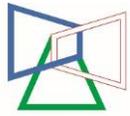
■東京都の施設を展示会場として利用できるよう利用条件の緩和

駐車場、空き地、博物館、美術館、日比谷公園など都が所有する施設を、主催者が企画提案した場合、展示会場として利用できるよう利用条件を緩和（すべての展示会の代替にはできないが、この緩和によって開催可能な展示会ができてくる）

■2021年4月以降の利用制限を早く確定

2021年の五輪期間中のビッグサイト西・南・青海展示棟の利用制限日程が確定していないため、2021年4月以降の日程提示がされていない状況（展示会は通常約一年前からの準備期間が必要だが、既に一年を切っている状況）

※幕張メッセも東京ビッグサイト同様に2021年4月以降の日程が提示されていない



Withコロナ期の感染症対策に関する要望

■新型コロナ対策に必要な経費の支援

6/10に策定した「展示会業界におけるCOVID-19感染症拡大予防ガイドライン」に準拠して展示会を開催するためのマスク、消毒液、体温検知器（サーモグラフィ等）等感染症対策に必要な消費財とそれを運用する人件費、三密を防ぐための空調費の支援

■地域経済活性化への貢献が大きいMICE再起動のため会場費減免支援

MICE（見本市・展示会、コンベンション、その他イベント）は、地域経済の活性化への貢献が大いに期待できる。コロナ禍によって収縮した経済を再度活性化させるため、MICEの基点となる会場費の減免によって、再起動の支援（※6/18MICE再起動のためインテックス大阪の施設基本使用料を原則半額免除と大阪市発表）

■来たるデジタル社会を見越して施設の入場管理や通信環境を整備

施設への入場者管理やデジタル対応ができるよう通信環境等のハードを整備することによって、今後のデジタル社会における産業発展の基盤構築支援

■Afterコロナ期に向け、展示会産業基盤を構築するための支援

三密を防ぐための入場管理予約システムやアプリケーション、バーチャル展示会、展示会の成約率向上のためのマッチングツール開発など、コロナ禍を経て、新しい展示会産業の発展が日本経済のV字回復となるような産業基盤を整備するための支援